

脳梗塞リハビリステーション・グループはクラウドケアと業務提携 「日本初、スキルシェア形式で、保険外（自費）の脳卒中の 後遺症リハビリサービスを提供開始」します。

株式会社スターパートナーズ（本社：東京都品川区、代表取締役：齋藤直路）の運営する「脳梗塞リハビリステーション・グループ」は、脳梗塞の後遺症改善に強い意欲を持ちながら、満足なりハビリテーションを受ける機会のない方々に対し、継続したリハビリテーションを受けることのできる場を提供することで、より良くなることを諦めずに済むような社会を目指しています。この度、ネットで簡単に頼める訪問介護・家事・生活支援サービス「Crowd Care(クラウドケア)」を運営する株式会社クラウドケア(本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：小嶋潤一)と業務提携し、日本で初めて、スキルシェアという形式で、保険外（自費）の脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）の後遺症リハビリサービスを提供いたします。当提携を通して、脳卒中の後遺症でリハビリを受けたくても充実したリハビリを受けることができない「リハビリ難民」の減少を目指します。

WEB：<https://kyu-reha.jp/>



介護の手を、正しくつなぐ。
クラウドケア
Crowd Care



■目次

- 脳梗塞リハビリステーション・グループとは
- 業務提携内容について

■脳梗塞リハビリステーション・グループとは

「脳梗塞リハビリステーション」とは、2017年12月に福岡天神に1号店をオープンした、脳梗塞後遺障害に特化した自費リハビリ施設です。脳梗塞の後遺症改善に強い意欲を持ちながら、医療保険や介護保険では十分にカバーしきれなかった層に対し、完全自費の自由度の高いリハビリテーションを提供しております。また提供サービスの質の向上に向けて、顧問にリハビリテーション専門医の医師を迎えており、現在は、東京都や宮城県、山形県、兵庫県、広島県、山口県、タイ王国・バンコクなど国内外で9つのリハビリ施

設を展開しています（2022年6月末現在）。その他、2021年3月開催の国際・アジア健康構想協議会シンポジウム「アジア諸国におけるヘルスケア事業展開・介護人材還流に関する事例紹介」への登壇、2021年3年4月度発表の厚生労働省老健局「高齢者向け住まいにおける介護保険サービスと介護保険外サービスの実態に関する調査研究」等への協力を実施しています。

脳梗塞の後遺症で麻痺が残ると歩行や食事等がこれまで通りにできなくなることがあります。元通りにできるようになる、または、完全に元通りにはならないまでも少しでも自分でできることを増やす為には、専門的な訓練（リハビリテーション）が必要となります。通常、リハビリテーションは病院や介護施設等で受けることが可能ですが、現在の日本の医療保険・介護保険では、リハビリテーションを受けられる期間・時間・頻度等に制限があり、少しでも元通りの生活に近づきたい、その為に沢山リハビリをしたいという意欲を持った方であっても、十分な機会を得ることができていません。

超高齢化が進む日本では、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）の後遺症により、リハビリのニーズは高まると予想されていますが、医療・介護保険制度では「リハビリを受けられる期間や回数が定められている」「自分が送りたい生活や人生目標とのギャップがある」という課題があり、自分が納得するまでリハビリを受けられない現実があります。実際に、脳卒中の後遺症によるリハビリの場合、医療保険制度では150日～180日までしかリハビリは受けられません。また、発症から約3～6ヶ月までの回復期で利用するリハビリ病院でもいかに短期間で大きく改善できるかを評価する指標が導入されるなど、在院日数を短くすることが求められています。そのため、短期間で回復でき社会や自宅に復帰できた方は良いのですが、回復できる可能性があるのに期間が来たために退院せざるを得ないケースも多くあります。

「脳梗塞リハビリステーション・グループ」は、保険を使わない完全自費のリハビリテーションサービスだからこそ、期間・時間・頻度に縛られず、ご希望されるだけのリハビリテーション機会を提供することが可能です。理学療法士等国家資格を持ったスタッフがマンツーマンでプログラムを提供します。脳梗塞の発症から3年以上経った方でも受けることができます。

※1 厚生労働省、令和2年（2020）人口動態統計月報年計（概数）の概況、
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai20/dl/gaikyouR2.pdf>

※2 厚生労働省、平成29年（2017年）患者数調査の概要 5 主な傷病の総患者数、
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/17/dl/05.pdf>

■業務提携の内容について

今回、提携するクラウドケアは、「ケアを通して、多くの人々を幸せにする。」をミッションに、2016年の創業から、介護保険制度では補えない介護ニーズとヘルパーをマッチングし、介護保険外の訪問介護・家事・生活支援サービスを提供してきました。スターパートナーズは、クラウドケアとの提携を通して、今後も増加し続ける保険外のリハビリニーズとリハビリ専門職が正しくつながる機会を創出してまいります

業務提携により、まずは下記のサービスを展開してまいります。

サービス名 : 訪問リハビリテーション

サービス内容 : 脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）の後遺症リハビリ専門のリハビリ職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）がご自宅に訪問してマンツーマンで徹底したリハビリを提供します。医療保険や介護保険のリハビリではカバーしきれない方、発症して数年経った脳卒中後遺症の方にも、改善を目的とした集中的な施術を行います。脳卒中のリハビリを専門に実施する脳梗塞リハビリテーション・グループの審査・研修を受けた国家資格（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）を持つスタッフがクラウドケアのヘルパーとして登録されるため、インターネット上で簡単に訪問リハビリサービスを頼めます。

メニュー : 特別体験プログラム 1回60分 11,000円（税込）

訪問リハビリプラン 1カ月60分×8回(週2回)コース 132,000円(税込)

提供エリア : 世田谷区、目黒区、練馬区、品川区、北区、板橋区、新宿区、渋谷区、港区、中野区、三鷹市、武蔵野市

詳細URL : <https://www.crowdcare.jp/services/rehabilitation/>

■運営会社について



「脳梗塞リハビリステーション・グループ」を運営する株式会社スターパートナーズは、保険外リハビリ事業「脳梗塞リハビリステーション」の運営および経営コンサルティングを通じて、リハビリテーションを通じた、全人的な人生の支援ができるよう、皆様のお力になれるように尽力いたします。

- 社名 株式会社スターパートナーズ
- 事業 脳梗塞リハビリステーション
- 代表 代表取締役 齋藤 直路
- 住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツビル2階
- 支社 福岡支社、仙台支社 等
- 設立日 2014年5月25日
- 資本金 3050万円(資本準備金含む)

● WEB/SNS

WEB(脳梗塞リハビリステーション) : <https://kyu-reha.jp/>

Instagram : https://www.instagram.com/noureha_fukuoka_official/

facebook : <https://www.facebook.com/kyureha.jp/>

●代表プロフィール

代表取締役 齋藤直路(さいとうなおみち)

東京都出身、宮崎にて幼少期を過ごす。大手コンサルティング会社等を経て、介護医療福祉に特化した経営コンサルティング会社として株式会社スターパートナーズを設立。2017年より脳卒中等の後遺症に特化した「脳梗塞リハビリステーション」事業を福岡市中央区天神で開始。現在は、福岡、久留米、仙台、山形、東京・杉並、神戸須磨、広島、山口、タイ王国BANGKOK市(連携含む)の9拠点で運営。講演、執筆などメディア実績多数。最近では女性自身、プレジデント、週刊文春等の一般誌でも介護保険・介護施設について解説することも多い。九州大学大学院医学系学府卒(公衆衛生学修士)、日本社会事業大学大学院卒(福祉マネジメント修士)。

■ご取材希望など、本プロジェクトに関するお問い合わせ先

株式会社スターパートナーズ
脳梗塞リハビリステーション
統括本部
電話 : 0120-99-4306
mail : info@care-sp.net